

施策番号	0601		
施策名	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり		
概要	京都の先人たちの文化を受け継ぎ、幅広い市民が多彩な文化芸術に気軽に親しめる環境をつくとともに、文化芸術に関する子どもたちの教育や文化芸術による地域のまちづくりを進める。		
担当局・部室	文化市民局・文化芸術都市推進室	共管局・部室	
上位政策	6 文化		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都文化芸術都市創生計画, 京都文化芸術プログラム2020		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト	
1 学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内NPO法人数(団体)	b	c	351	331	371	89.2%	e	1.00	
2 京都市後援名義使用許可数(件)	a	a	419	321	419	76.6%	e	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				e	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	60	186	162	67	42	517	c
	11.6%	36.0%	31.3%	13.0%	8.1%		
2 文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	84	217	164	53	22	540	b
	15.6%	40.2%	30.4%	9.8%	4.1%		
3 -							-
4 -							-
5 -							-
						市民生活実感調査総合評価	b

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそれぞれ達成されている					26年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	e	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 当該施策は、市民が文化芸術の支え手として誇りをもつことをめざしているため、市民の実感を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】●学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内NPO法人数については、京都市では既に他都市に比べて登録者数が多く、伸びが緩やかになっているところに、団体の統廃合があったため、目標値を達成することができず、c→e評価に悪化した。 ●京都市後援名義使用許可件数については、前年度と比べ大きく減少し、a→e評価となった。減少理由としては、四半期ごとなど、年間に複数回の許可を行っていた事業について、通年事業とみなすことで、申請事務の整理等を行ったことなどが挙げられ、数字上の減少数と実態とのかい離がある。 【市民の実感】伝統文化の継承や芸術系大学の集積といった京都の強みが反映された結果であり、また、文化芸術が身近に感じられる環境の構築が進んだことにより、前年度に引き続き総合評価がb評価となったものと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	国家戦略としての京都創生の推進、双京構想の推進	68,835	76,318	良い	総合企画局
2	文化ボランティア事業	3,912	3,802	良い	文化市民局
3	京都文化祭典	50,039	51,317	良い	文化市民局
4	京都文化芸術都市創生条例の推進	18,642	12,968	良い	文化市民局
5	子どもが文化芸術に親しむための取組	4,569	5,125	良い	文化市民局
6	京都市キャンパス文化パートナーズ制度	2,151	2,510	悪い	文化市民局
7	京都国際現代芸術祭の開催	208,896	53,264	良い	文化市民局
8	京都文化芸術プログラム2020を牽引する重要事業	24,501	23,936	良い	文化市民局
9	京都国際映画祭	5,809	5,852	普通	文化市民局
10	無鄰菴	14,042	13,069	良い	文化市民局
11	京都文化フェア(仮称)の開催準備	-	8,700	-	文化市民局
12	大政奉還150周年記念プロジェクト	-	8,883	-	文化市民局
13	京都市交響楽団創立60周年記念事業負担金	-	31,246	-	文化市民局
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

●学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内NPO法人数については、今後も引き続き登録者数の増加に向けての取組を進める。
●引き続き、後援名義使用許可や文化芸術についての情報提供を行うことで、市民の自主的な文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術が子どもたちや学生、地域のくらしにも浸透し、発展するよう、「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」や、学生の文化芸術に対する理解を深め、京都の多彩な文化芸術に親しむ機会を提供する「京都市キャンパス文化パートナーズ制度」(登録者数:約7,000人(平成27年4月時点))などの取組を進める。

施策名	0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり				
指標名	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内NPO法人数（団体）					
担当課	文化芸術企画課		連絡先	366-0033		
1 指標の説明						
学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内に所在するNPO法人の認証数（各年度3月31日現在）						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
地域の暮らしのなかに文化芸術が息づいていることを示す指標			算出方法：今年度の登録者数－前年度の登録者数 出典：内閣府NPOポータルサイト ※平成22年度までは京都府NPO協働ポータルサイト			
4 数値						
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移 20団体減	目標値		
数値	351	331		数値 371	根拠 前年度（25年度）数値より20団体以上増加	達成度 89.2%
	全国順位	中長期目標			備考	
数値		数値	目標年次	達成度		根拠
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値が a：前年より20団体以上増加 b：前年の10団体以上、20団体未満増加 c：前年の0団体以上、10団体未満の増加 d：前年の0団体超、10団体未満の減少 e：前年の10団体以上減少			法人数の増加が望ましいため、単年度目標値に対する増減で基準を設定した。 25年度：351団体 24年度：342団体 23年度：325団体 22年度：261団体 21年度：242団体 20年度：219団体		25 26 27 b c e	

指標名	京都市後援名義使用許可数（件）				
担当課	文化芸術企画課		連絡先	366-0033	
1 指標の説明					
文化芸術に関する事業についての、京都市後援名義の使用許可件数					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
文化芸術に関する市民の自主的な活動を支援していることを示す指標			出典：事業担当課調べ		
4 数値					
	前回数値 25年度	最新数値 26年度	推移 98件減	目標値	
数値	419	321		数値 419	根拠 過去5年間（平成21～25年度）の最高値（平成25年度）
	全国順位	中長期目標			備考
数値		数値	目標年次	達成度	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
最新の数値が、過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			使用許可数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。 最高値：419（平成25年度） 平均値：366 最低値：300（平成22年度）		25 26 27 a a e